

# CASBEE® - 建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人朗源会 大隈病院新築工事	階数	地上6階
建設地	兵庫県尼崎市昭和通2丁目67-25,6	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域、第4種高層住居専用地域	平均居住人員	268 人
地域区分	6地域	年間使用時間	876 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年6月 予定	評価の実施日	2022年12月22日
敷地面積	1,263 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社環境空間設備 宮崎 彰子
建築面積	955 m <sup>2</sup>	確認日	2022年12月22日
延床面積	4,925 m <sup>2</sup>	確認者	清水建設株式会社関西支店一級建築士事務所 小原 博之



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 3.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.9

**LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>		<b>その他</b>
<p>阪神南地区を中心に地域医療に貢献する病院の移転新築工事を計画。環境や景観への配慮を行うとともに、災害時のBCP対応を行う省エネ型病院。特にバリアフリー法の認定申請を取得し、利用する患者や職員に基準を上回る最大限の配慮をした建物とした。</p>		<p>医療施設としてアメニティや機能性を高めるために、建築基準法を上回る廊下・階段幅や広いトイレ等を設置し、建築基準法52条許可を取得。</p>
<b>Q1 室内環境</b>	<b>Q2 サービス性能</b>	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>
<p>外来や病室においては窓からの日光を十分に受け入れ、光環境向上を行った。国道2号線沿いの立地性を考慮し騒音・振動の影響がないよう配慮した。また敷地内を禁煙とすることで、非喫煙者が副流煙に晒されないよう配慮した。</p>	<p>国道沿いに自動車の寄付きを設け、雨に濡れないアプローチャイスイエントランス空間とした。外來は広く明るい吹抜のあるホールとし、患者と職員のコミュニケーションに配慮し快適でアメニティの高い空間とした。院内はすべて建築基準法を上回る広い廊下と、病棟病室は1ベットごとに十分なスペースを確保し、患者の生活空間として配慮した。全館バリアフリーに配慮し利用者に寄り添った建物とした。</p>	<p>尼崎市が重視する(景観審査会受償)街並み景観の向上を目指し、意匠形態と色調の配慮を行うとともに沿道緑化のみならず、可能な限り敷地内に植栽を配し、屋外環境の快適性の向上を図った。必要な駐輪場を確保し、敷地前の沿道に放置自転車が発生しないよう配慮した。</p>
<b>LR1 エネルギー</b>	<b>LR2 資源・マテリアル</b>	<b>LR3 敷地外環境</b>
<p>外壁や屋上躯体への断熱性能の高め、窓ガラスはLOW-Eペアガラスを採用するなど建材使用による省エネルギー化に配慮した。LED照明+人感センサーを採用した。</p>	<p>節水器具採用にて水資源の保護、非再生性資源の使用量の削減、汚染物質含有材料の使用量削減による環境負荷低減を図る。廃棄物の適切な処理を実施するとともに、有害物質を含まない材料を使用する。</p>	<p>建物エネルギー消費量削減によりLCCO<sub>2</sub>を低減させる。また光害抑制から周辺への環境負荷抑制を図る。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される